

都市再生整備計画 事後評価シート
大宮駅周辺地区

令和3年3月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	大宮駅周辺地区			面積	約130ha			
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	5168.8(内まちなかウォークアブル推進事業費4)	国費率	0.362(まちなかウォークアブル推進事業国費率 0.5)					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設 広場:大宮区役所新庁舎建設敷地((仮称)杜のひろば) 地域生活基盤施設 地域防災施設:防災備蓄倉庫(大宮区役所新庁舎) 高質空間形成施設:一の宮通り 高次都市施設 地域交流センター:大宮区役所新庁舎((仮称)ふれあいスペース)、大宮駅東口大門町2丁目中地区(ホール) 地域創造支援事業 図書館 地域創造支援事業 (仮称)杜のひろば									
		提案事業	事業名 地域生活基盤施設 広場:(仮称)杜のひろば(大宮区役所新庁舎) 地域創造支援事業:(仮称)杜のひろば									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	広場の位置に変更が生じ、交付対象としてなじまない判断したため、事業の削除を行う。		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	広場の位置に変更が生じ、交付対象としてなじまない判断したため、事業の削除を行う。		影響なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	都市計画道路事業の供用開始後における、道路および沿道敷地の体系的な利活用モデルの構築に向けて、道路幅員予定地と沿道敷地を一体的に利活用する社会実験の実施により、利活用施設の導入を検討するため。交付対象事業費4百万円		影響なし							
		提案事業	大宮駅東口大門町2丁目中地区に整備されるホール等や、今後の大宮駅東口駅前における再開発を見据えた道路や歩行者のネットワーク形成の検討を行うため追加。		影響なし							
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	駅周辺地区の回遊性・賑わい	%	40	H27	66	R2	26.0	×	あり なし	新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により、外出が制限され、歩行者交通量が減少し、賑わいに与える印象が悪化した。	令和7年度
	指標2	駅周辺地区の低炭素まちづくり	%	5	H27	51	R2	34.9	△	あり なし	低炭素まちづくりの印象が大きい市街地再開発事業が未竣工のため目標値を達成できなかったことが考えられる。	令和7年度
	指標3	駅周辺地区の帰宅困難者収容人数	人	3,070	H27	4,170	R2	3,420	△	あり なし	帰宅困難者収容人数に大きな影響を与えると考えられていた大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業が竣工していない。	令和4年4月頃(事業実施後)
	指標4								あり なし			
指標5								あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮区役所新庁舎、図書館等が合築したことにより、多様な世代が集まり、賑わいのある空間が創出された。 ・都市計画道路水川緑道西通線(南区間)の整備により、自動車の相互交通が可能となり、交通利便性が向上した。また、歩行者空間の拡充や、自転車レーンの設置により、安全性が向上した。 ・都市計画道路水川緑道西通線での社会実験により、まちに賑わいが創出された。 ・水川参道歩行者専用化(中区間)により、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区の歩行者の安全性が向上した。 											
	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
5)実施過程の評価	モニタリング	大宮区役所新庁舎整備事業設計・建設モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	建設工事了に伴い、モニタリングが終了した。			
	住民参加プロセス	オープン会議(計4回)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	市民からの意見等をどのように反映するか、市と事業者で協議を行っていく。			
		大宮GCSオープンワーキング(計1回)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後も市民の意見を聞いて、GCS構想を推進する。			
		デザイン調整ワーキング(計11回)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後も市民に対して、GCS構想が関心・期待を持っていただけるように活動する。			
	持続的なまちづくり体制の構築	都市再生推進法人が中心となって、大宮駅東口駅前おもてなし公共施設(OM TERRACE)の屋上テラスにおけるイベント時の管理			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後もアーバンデザインセンター大宮(UDCO)と協力し、OM TERRACEの利用促進を図る。			

様式2-2 地区の概要



まちの課題の変化

- 大宮の都市規模や交通結節点のポテンシャルが活かし切れていない状況であったが、大宮駅グランドセントラルステーション化構想に基づいた交通基盤整備、駅周辺のまちづくり、駅機能の高度化などの推進を図っている。
- 多様化する市民生活を支えるため、大宮区役所新庁舎、図書館、杜のひろばが「核」となる機能として図られた。
- 「大宮らしさ」を象徴する新たな魅力や価値として、大宮区役所新庁舎を新設した。
- 民間の力を活かしたまちづくりの推進として、桜木駐車場跡地利用や、市街地再開発事業等を計画している。
- 広域交通の拠点性の向上と地域内の快適な移動環境の実現を図るため、地域内における道路整備等の推進を図っている。
- 帰宅困難者対策や安全な市街地整備を通じた都市防災に対する防災拠点形成のため、大宮図書館や、大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業の完了(令和4年4月供用開始予定)により、帰宅困難者収容人数が増加している。
- 地球環境や社会環境の変化に対応した持続的な発展を図るため、氷川緑道西通線(南区間)の整備により、徒歩や自転車による移動環境の向上や、大宮区役所新庁舎等の建築物による低炭素化の推進により図られた。
- グローバル社会にふさわしい都心活動(ビジネス・観光)と都市空間の形成を図るため、観光資源である氷川神社に繋がる氷川参道歩行者専用化(中区間)の事業や、市街地再開発事業によるビジネス空間の創出を図っている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 大宮のポテンシャルを活かしたまちづくりとして、市街地再開発事業により、帰宅困難者収容可能施設としての利用や、ビジネス空間の創出を図る。
- まちづくり基盤や移動環境の充実を図るため、道路事業の推進を促し、観光箇所へのアクセスや、市街地再開発事業に対応した整備を図る。